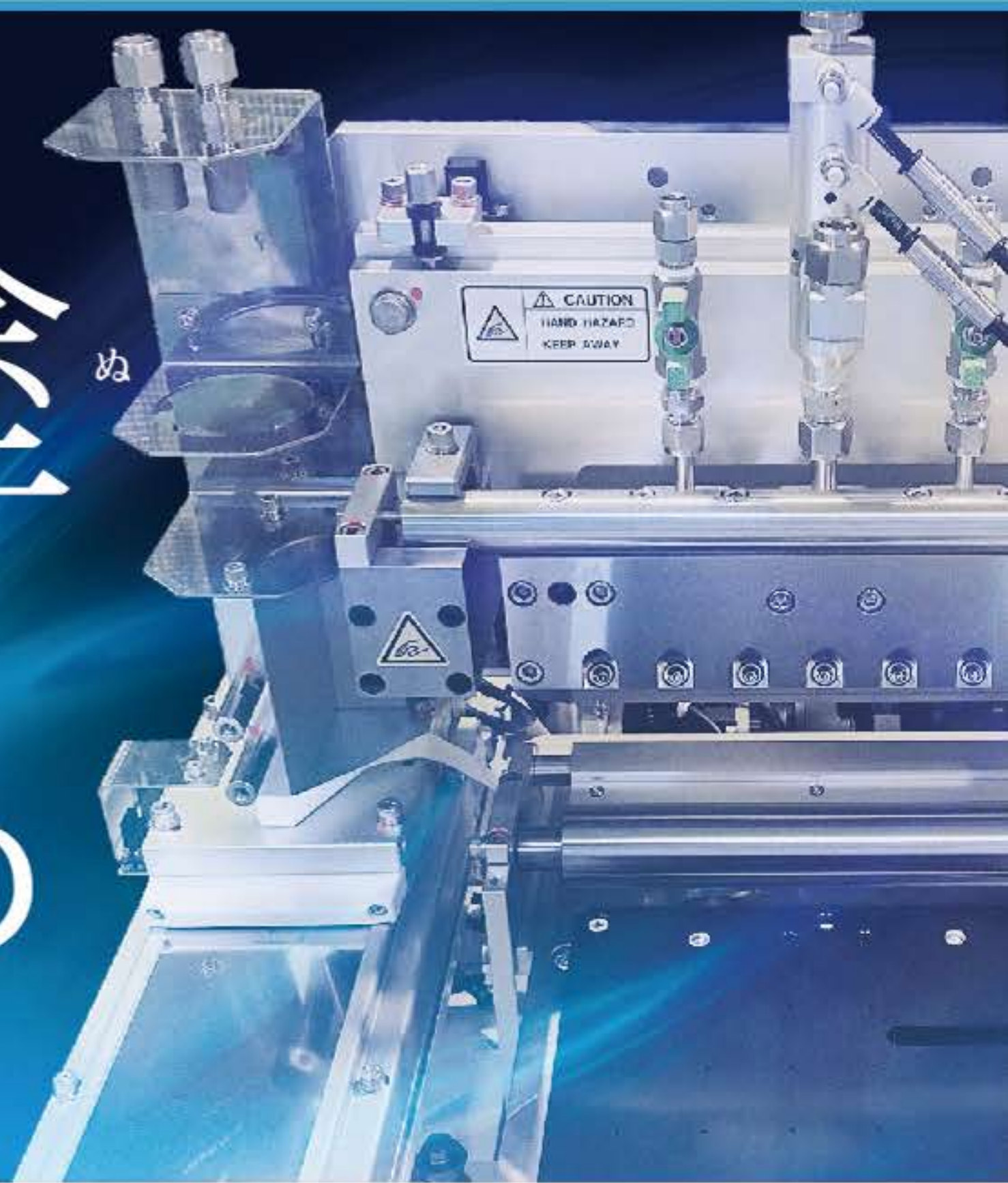


塗ぬる

精度要求、材料特性、使用用途を考慮し、最適な「塗る」技術を提供します。



特徴1 任意パターンを塗る

- フレキシ印刷方式は、版のデザインを変更することで任意パターンを塗ることが可能
- 0.00007mmの薄膜（ポリイミド膜）を面内分布 ±5% で塗布

特徴2 全面パターンを塗る

- スリットコート方式は、スリットダイの長さを変更することで全面パターンを塗ることが可能
- 150,000cpsの高粘度材料（UV硬化材）を膜厚 100 μ m で塗布

特徴3 線パターンや点を塗る

- ディスペンス方式は、プログラムの変更で任意の線パターンや点を塗ることが可能
- 用途や材料粘度に応じて、エアー加圧方式やメカニカル方式の選択が可能



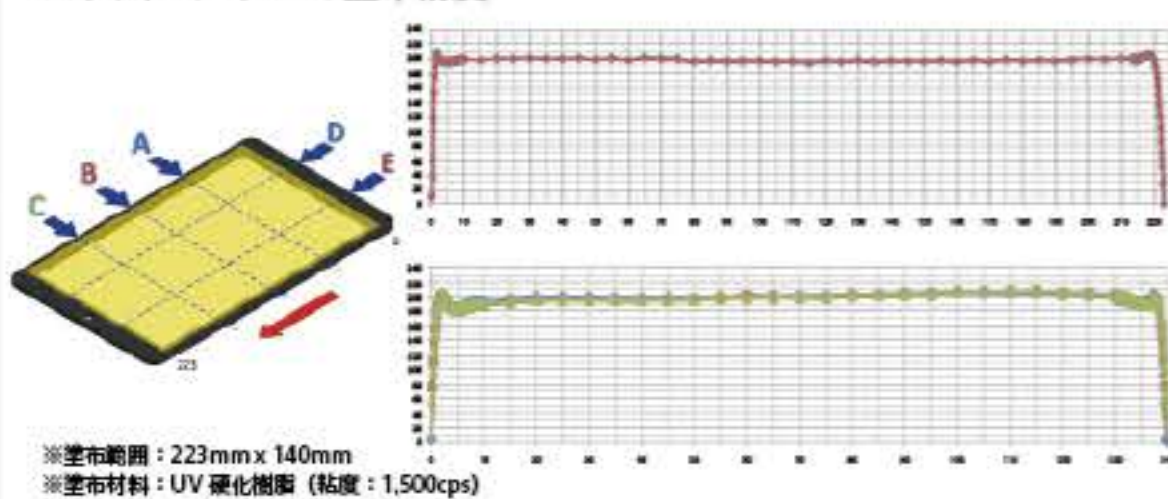
当社技術の採用例

- 採用工程：ディスプレイ製品の組立工程
- 装置名称：スリットコーター（SCシリーズ）
- 設備概要：スリットダイで光学性透明接着材を『塗る』ことにより、カバーガラスとディスプレイを貼り合わせるための前処理をします。

設備仕様

スリットダイ最大寸法	1,000mm
スリットダイ仕様	ステンレス（内部研磨）
塗布方式	ステージ移動式、ヘッド移動式
ステージ速度範囲	5 ~ 600mm/sec
塗布幅の変更	シムプレートの交換
塗布厚の範囲	0.1 ~ 0.8mm
材料粘度の対応範囲	Max.150,000cps
材料加圧方式	エアー加圧、メカニカルポンプ

スリットコーターの塗布精度



塗布方式の比較

塗布方式	フレキシ印刷	スリットコート	ディスペンス
概要			
塗布用途	任意パターン	全面パターン	線パターン・点
適用材料粘度	20~100cps	3,000~150,000cps	1,000~100,000cps
塗布膜厚	液晶配向膜：0,0001mm	UV硬化樹脂：0.1mm	液晶シール材